



## 2月15日～28日の活動報告

### ●第2回海外現地情勢報告セミナー

日時：2月15日(火) 13:30-15:30

形式：オンライン

演題Ⅰ：「中国の最新情勢」

<第一部>「中国の今」

上海伊藤忠商事有限公司総代表補佐 東アジア  
ブロック 経営企画グループ長 廣松 智之 氏

<第二部>「消費主導へのソフトランディングを図る  
中国経済」

(株)伊藤忠総研 上席主任研究員 須賀 昭一 氏

演題Ⅱ：「インドビジネスの可能性」

<第一部>駐在員が見るインドの状況

Toyota Tsusho India Pvt. Ltd. 社長 柳澤 宏 氏

<第二部>グジャラート州における活動紹介

Techno Trends Auto Park Pvt. Ltd. 社長  
尾崎 真二郎 氏

参加者：94名(含む、事務局)



江守委員長は当会「第五次中期アクションプラン」の3本柱の一つである、「北陸企業の労働生産性の向上と成長」の中での「市場開拓における海外ニーズ調査」の一つとして、アフターコロナ時代での中国とインドでの事業活動に資するべく、総合商社の現地駐在員視線での最新経済情勢・動向、ビジネス慣習、並びに現地発の新技术、次世代ビジネスのトレンド等について生情報を発信する貴重な機会であることを強調された。

アンケート調査結果ではコロナ禍で海外渡航が制限される中、現地の生の最新情報が入手でき、特に、両国の自動車産業の動向、インドビジネスの潜在的可能性を把握出来、大変有意義な機会であったとの感想が寄せられた。アンケート調査結果を参考の上、次回の対象国、テーマ等を企画したい。

(担当：小島)

### ●北陸産学技術交流会(情報交換) テーマ④

#### 「IH加熱技術の適用が可能な分野・生産設備」

主 査：北陸電機製造(株)

日時：2月17日(木) 13:30-15:00

場 所：オンライン開催

参加者：8名(事務局4名含む)

北陸電機製造(株)との共催で「IH加熱技術の適用が可能な分野・生産設備」をテーマに北陸産学技術交流会を開催した。

参加者の自己紹介後、主査の北陸電機製造(株)から提案テーマの趣旨と事例等について説明後、参加者からの質問や意見があった。大学からの参加者からIH応用技術に関する研究概要についても紹介があった。



(担当：坂井)

### ●北陸産学技術交流会(情報交換) テーマ⑤

#### 「製造業におけるデジタル変革」

主 査：西日本電信電話(株)北陸支店

日時：2月25日(金) 13:30-15:00

場 所：オンラインに変更して開催

参加者：11名(事務局6名含む)

西日本電信電話(株)北陸支店との共催で「製造業におけるデジタル変革」をテーマに北陸産学技術交流会を開催した。NTT 出羽町ビルでのリアル開催で準備を進めていたが、石川県の新型コロナまん延防止措置が延長となったため、急遽、オンラインに変更しての開催となった。

参加者の自己紹介後、西日本電信電話(株)から「製造業におけるデジタル変革」に関連するリモートファクトリーの実現事例紹介および実演があった。その後、参加者から紹介事例に関する質疑応答、自社での取組み事例等について紹介があった。



(担当：坂井)

### ●第12回北陸地域政策研究フォーラム

#### シンポジウム「地域圏企業における働き方改革の意義と労働生産性への影響を巡って」

日時：2月20日(日) 15:20-17:25

形式：オンライン(当日ライブ配信、後日録画配信)

参加者：18名(後日録画配信含む)

当会は、北陸地域の人文社会系専門家とのネットワークを構築し、北陸地域が抱える諸課題について一緒に議論し、解決に向けた道筋を探っていきたいと考えている。今回、北陸3県を中心とする大学の人文社会系研究者のネットワークにより毎年開催されている「北陸地域研究政策フォーラム」(当会は2016年の第6回から後援)の中で、今回新たに当会共催のシンポジウムとして、「地方圏企業における働き方改革の意義と労働生産性への影響を巡って」をテーマに、3大学の先生3名の個別発表、その後パネルディスカッションを行った。

山下専務理事の開会挨拶後、富山大学経済学部教授の小柳津英知氏を総合司会として、まず、富山大学経済学部教授の柳原佐智子氏から、「テレワークの影響と課題」をテーマに発表があり、「人手不足の地方の中小企業こそ、時間と場所に捉われないテレワーク等の柔軟な働き方が求められている」、「等の話があった。続いて、福井県立大学地域経済研究所准教授の杉山友城氏から、「企業経営における労働生産性の考え方」をテーマに発表があり、「労働生産性とは、自社の競争優位性および社員の成長を定量的に示した指標のひとつである」、「直近5年程度の労働生産性を算定することにより、自社の適正な労働生産性の水準を把握することができる」等の話があった。続いて、金沢星稜大学経済学部准教授の神崎淳子氏から、「地域レベルの職業訓練の現状と今後の可能性」をテーマに発表があり、「労働生産性向上を支えるのは、reskillingやupskillingといった労働者の技能形成を行う職業訓練である」等の話があった。

続いて、関西大学総合情報学部教授の古賀広志氏をモデレーター、個別発表いただいた3名の先生をパネリストとして、聴講者からの質問等をテーマにパネルディスカッションを行った。その中で、「労働生産性はマネジメントが適切に行われているかを確認するガバナンスのツールである」、「労働生産性を向上させるためには、人だけでなく、企業の風土や人事制度等の仕組みも変えていく必要がある」等の話があった。



(写真左から、古賀先生、神崎先生、杉山先生、柳原先生)

なお、シンポジウムの様子は、YouTubeにて本日から3月15日(火)まで配信しております。労働生産性に関

して示唆に富む内容が数多く含まれておりますので、是非ご視聴いただきますようよろしくお願いいたします。なお、視聴は会員限定で、録画、録音行為、講演資料の転送・二次利用等は禁止とさせていただきます。

(URL) <https://youtu.be/uYsjuLvK-U>

(担当：小林)

## ●大学生観光まちづくりコンテスト2021 北陸ステージ

日時：2月22日(火) 10:00-16:00

場所：富山電気ビルディング\*オンライン開催

県内外の大学生が北陸地域の活性化につながる観光プランを提案する「大学生観光まちづくりコンテスト2021北陸ステージ本選審査会」(主催：大学生観光まちづくりコンテスト運営協議、特別協力：北陸経済連合会 他)が、オンラインにて開催された。

当ステージは2016年からはじめ今回が5回目の開催。23大学38チームがエントリーし、予選を通過した7大学10チームが本選に進出した。

審査員は、観光庁、北陸三県、北経連、北陸AJEC、北陸広域観光推進協議会、(株)JTB金沢支店のメンバーで実施した。

表彰式では、冒頭、北経連山下専務理事から、観光業は北陸においても重要な産業であること、またコロナ禍で北陸でのフィールドワークで苦労されたことへの労い、そして大学生の皆さんの意表をついたアイデアなどは是非参考にさせて頂きたいと述べた。

最優秀賞の観光庁長官賞は、東洋大学の「北陸の強みを再発見!~小京都で漁師密着24時~」が受賞。このプランは、早朝自分で釣った魚を市場で売り出すまで体験し味わい、そして情報誌付きふるさと納税までを展開するというもので、北陸における持続可能な周遊観光の実現に資する提案であった。

二位は慶應義塾大学、三位は亜細亜大学がそれぞれ受賞した。

コロナ禍での開催という事もあり、フィールドワークや議論の方法など、様々な工夫が必要な提案だったが、その中で北陸地区の魅力をしっかりと分析し、素材を生かした提案も数多くあり、どれも素晴らしい提案内容だった。

参加した大学生からは、コロナ禍でフィールドワークやチームディスカッションなど、様々苦労した事があったが、本選に選出頂き、動画プレゼンテーションを実施させて頂いた事に感謝する。またプランを作成するにあたり、北陸地区の事を深く知っていき、北陸の魅力をより一層感じる事ができたとの

コメントがあった。



(担当：高田)

### 今後の行事予定

#### ◆【実施】第29回北陸地域懇話会（北陸・近畿地方整備局、北陸信越・中部運輸局との懇談会）

日時：3月1日(火) 15:00-17:00

形式：オンライン開催（Teams 使用）

対象：理事以上、監事

#### ◆【実施】北陸国際投資交流促進会議主催

「北陸進出企業に学ぶ企業誘致勉強会（第3回）」

日時：3月7日(月) 10:30-12:00

形式：オンライン開催（Teams 使用）

講演：（※講師変更）

「アステナが取り組むサステナブル戦略」

アステナホールディングス株式会社

常務執行役員社長室長 清水 雅楽乃氏

説明：自治体（石川県）より誘致にあたっての支援・サポート活動などご説明

申込：〆切済

(担当：岩田、森岡)

#### ◆【実施】2021年度第3回 国際委員会

日時：3月18日(金) 12:00-14:00

場所：ホテル金沢（オンライン併催）

対象：委員へ案内済

#### ◆【実施】2021年度第3回 社会基盤委員会

日時：3月28日(月) 12:00-14:00

場所：ホテル日航金沢（オンライン併催）

対象：委員へ案内済

#### ◆【実施】2021年度第3回 新たな価値創出委員会

日時：3月29日(火) 12:00-15:00

場所：ANAクラウンプラザホテル金沢（オンライン併催）

対象：委員へ案内済

#### ◆【実施】新たな価値創出オンライン講演会

チラシ：

<https://www.hokkeiren.gr.jp/news/data/80cd3cbe877ca69e70cea6b9e06e64ab.pdf>

日時：3月29日(火) 14:00-15:00

場所：オンライン開催(Teams ライブ配信)

対象：会員団体および関係団体会員等

演題：「北陸地域の活性化と人材育成への北陸先端大の取り組み」

講師：北陸先端科学技術大学院大学

学長 寺野 稔 氏

要旨：北陸先端大が進めています北陸地域の活性化と人材育成への取り組みにつきまして、オープンイノベーションイベントの「Matching HUB」を中心に、経産省の大型プロジェクトの採択に基づく「北陸DXアライアンス」と地域企業のデジタル化人材の育成を目的とした「デジタル化支援センター」の活動内容をご紹介します。また、北陸先端大の最近の研究成果につきましてご紹介いたします。

申込：3月18日(金)までに下記

URLまたは右側QRコードから

申込願います。

<https://forms.office.com/r/YrNqAEsMSD>

(担当：坂井)



#### ◆【実施予定】2021年度第3回 人財活躍推進委員会

日時：4月4日(月) 12:00-14:00

場所：ホテル金沢（オンライン併催）

対象：委員へ3月中旬にご案内予定

#### ◆【実施予定】2021年度第3回 観光委員会

日時：4月6日(水) 12:00-14:00

場所：金沢ニューグランドホテル（オンライン併催）

対象：委員へ3月中旬にご案内予定

#### ◆【実施予定】2021年度第4回 総合対策委員会

日時：4月19日(火) 12:00-14:00

場所：ホテル日航金沢（オンライン併催）

対象：委員へ3月中旬にご案内予定

### お知らせ

#### ■福井商工会議所からのお知らせ

『スマート工場技術ミニ展示会』の開催

生産・物流分野の「ムリ・ムダ・ムラ」を減らす最新技術をご紹介します。

【URL】<https://fcci-dx.jp/schedule/495/>



【日時】3月7日(月) 13:30~16:30

【場所】福井商工会議所ビル 地下国際ホール

【内容】中小製造業における人手不足は顕著であり、現場の負担軽減や業務効率化に向けた工程の省人化・省力化が必要不可欠です。「運搬に時間がかかる」「工程の進捗が把握できない」などのお悩みを抱えている方向けに技術やツールのデモ実演・体験を準備してお待ちしております！

【申込】上記 URL から事前申込願います。

【問合せ】福井商工会議所

デジタル活用ビジネス支援センター

TEL: 0776-33-8252 mail: [sangyou@fcci.or.jp](mailto:sangyou@fcci.or.jp)

(担当: 坂井)

## ■『2022 国際ロボット展』出展

【URL】<https://biz.nikkan.co.jp/eve/irex/>

【会期】3月9日(水)~12日(土)

【場所】東京ビッグサイト

【出展者名】北陸地域企業誘致連絡会

【内容】富山県、石川県、福井県、北陸電力(株)、北陸経済連合会で構成する北陸地域企業誘致連絡会(北陸国際投資交流促進会議)は、北陸地域への企業誘致を目的に、企業向け助成制度、交通アクセスの向上のほか、住みやすさ働きやすさを紹介する。

(担当: 森岡)

## ■富山県からのお知らせ

「煌めく女性リーダー塾マスターコース」公開講演会

【日時】3月18日(金) 15:00-16:00

【形式】オンライン開催

【対象】企業の女性リーダーの方、企業経営者、人事担当者、ご興味のある方

【講演】「ダイバーシティ&インクルージョンが社会を変える」 清水久三子氏

<https://good-work-life-toyama.jp/events/view/37>

【申込】3月11日(金)までに上記 URL から申込

【問合せ】富山県女性活躍推進課 076-444-3328

(担当: 日野)

## ■富山県からのお知らせ

「富山県 IoT 推進コンソーシアム全体会」の開催

【URL】

<https://www.toyama->

[iot.jp/file\\_upload/100263/\\_main/100263\\_01.pdf](https://www.toyama-iot.jp/file_upload/100263/_main/100263_01.pdf)

アフターコロナ時代に向けて、IoTをはじめとする最新のデジタル技術動向や活用事例等について学び、共有します。(※非会員、富山県外からも参加可)

【日時】3月18日(金) 14:00~16:05

【場所】パレブラン高志会館(オンライン併催)

【内容】

(1) 開会挨拶

(2) 基調講演:

「IoT、本当の実力は? デジタルで『ビジネスのスマート化』を実現した IoT 事例と取り組み方」

講師: (株) ソコム テクノロジー・エバンジェリスト 松下享平 氏

(3) IoT・AI 講座(活用実践編・ワークショップ) 報告会

報告 1: トヤマ商事(株) 代表取締役社長 森実智洋 氏

「不動産と管理責任者の見える化~経営のスピードメーター~」

報告 2: (株) 石金精機 製造部部长 金尾貴史 氏

「熟練作業員から若手作業員への技能伝承」

(4) 令和3年度活動報告及び令和4年度運営方針

【定員】会場: 50名 / オンライン: 100名程度

(参加無料)

【申込】下記 URL から申込願 [締切: 3月16日]

<https://shinsei.pref.toyama.lg.jp/SksJuminWeb/EntryForm?id=ZwbXnvzj>

【問合せ】富山県 IoT 推進コンソーシアム事務局

TEL: 076-444-3249

E-mail: [achiikisangyoshien@pref.toyama.lg.jp](mailto:achiikisangyoshien@pref.toyama.lg.jp)

(担当: 坂井)

## ■金沢工業大学からのお知らせ

KIT リカレント教育プログラム「金属熱処理基礎教育プログラム」(2022年4月~6月)の受講者募集

金属熱処理の基礎を習得することを目的に、高等学校卒業以上の方で入社からの年数が浅く、金属材料・熱処理を初めて学ぶ方を対象とした講座です。理論・実験・演習・発表を織り交ぜた講座で、関係する工業・力学・設計製図の基礎も学習します。本プログラムはオンラインで実施いたします。多数のご応募をお待ちしております。

【URL】

<https://www.kanazawa-it.ac.jp/rec/kinzoku/>

【内容】金属熱処理基礎教育プログラム(128時間)

・金属材料と熱処理(99時間)

・材料力学(21時間)

・eラーニング「日常生活の安全と製品の安全」(8時間)

※授業はオンラインで実施いたします。

※110時間以上(eラーニング学習時間は除く)

の出席で履修証明書を交付します

【開講期間】4月19日(火)~6月23日(木)の間の20日間開講

【受講料】1名あたり90,000円

※テキスト代として1名あたり別途10,000円程度が必要

【申込】上記 URL から企業様ごとに指定の申込書に参加希望者全員の情報をまとめて申込ください。(※個人での申込不可)

【申込締切】3月31日(木) 17:00まで

【定員】30名(先着順)

【問合せ】金沢工業大学大学事務局 庶務部  
共創教育推進室 TEL：076-294-6743  
(担当：坂井)

## ■中国ビジネスセミナー ～巨大な隣国の今を知り、 ビジネスチャンスを探る～ (オンラインセミナー) の ご案内

本年、国交正常化 50 周年を迎える中国との取引に  
関心のある方はご参加願います。

【詳細】

<https://www.near21.jp/kan/seminar/202203.html>

【日時】3月25日(金) 13:30-16:35

【形式】オンライン開催 (Zoom 利用)

【主催】(公財) 富山県新世紀産業機構

【後援】富山県、ジェトロ富山、北陸 AJEC

【参加費】無料

【申込締切】3月23日(水) 17:00

【問合せ先】富山県新世紀産業機構

アジア経済交流センター

TEL：(076) 432-1321 Mail: asia@tonio.or.jp

(担当：小島)

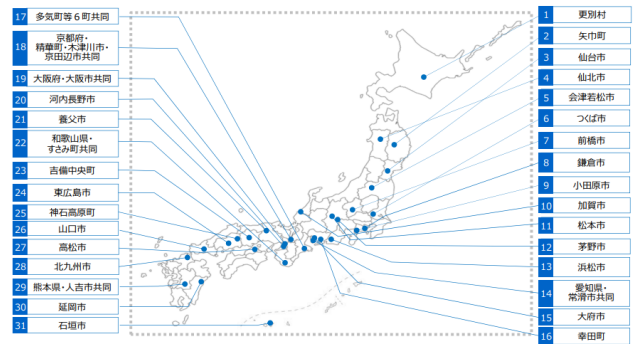
## ■スーパーシティ型国家戦略特別区域の指定について

近年、AI やビッグデータなど先端技術を活用し、  
様々な事業やサービスに共通に使用できるデータ基盤  
を整備することによって、社会の在り方を根本から変  
えるような都市を設計する動きが国際的に急速に進展  
しており、日本でも大胆な規制改革等によって、世界  
に先駆けて未来の生活を先行実現する「まるごと未来  
都市」を目指すスーパーシティ構想の実現を図る必要  
性が高まっています。

こうした状況を踏まえ、政府は、スーパーシティ型  
国家戦略特区を指定するため、地方公共団体に対し、  
特区として指定すべき区域、実施する先端的サービ  
ス、規制改革等に関する提案を募集した結果、合計 31  
の地方自治体から応募がありました。現在、政府の  
「スーパーシティの区域指定に関する専門調査会」に  
おいて、提案内容が審査されています。スーパーシ  
ティ型国家戦略特区に指定されると、関係省庁との協議  
なしに自治体独自の規制特例を設定できる等、スーパ  
ーシティ実現に向けて大きく前進することができます。  
北陸三県では、加賀市が応募しています。各自治  
体の提案内容は以下の URL から確認できます。

[https://www.chisou.go.jp/tiiki/kokusentoc/supercity/koubo/supercity\\_kouboelist.pdf](https://www.chisou.go.jp/tiiki/kokusentoc/supercity/koubo/supercity_kouboelist.pdf)

3.1の地方公共団体からスーパーシティの提案 ※複数団体による提案の場合は、1団体とカウント。



(出典) 内閣府国家戦略特区ホームページ

## マイナンバーカードが普及している2030年頃の未来社会を加速実現

(出典) 加賀市スーパーシティ型国家戦略特別区域の指定に  
関する提案書

(担当：小林)

## ■北経連事務局の人事異動

登 奨信 調査役

出向元の(株)北國銀行に  
帰任 (2月28日付)



以上